

令和5年度予算、
一般質問、厚生産業
委員会のご報告

立川市議会議員

原 ゆき



こんにちは、原ゆきです。私事ですが、4月に第二子が誕生しました。3月議会を終えてから産休としていましたが、6月議会から復帰しました。春夏合併号の今回は新年度予算や原ゆきの一般質問、立川市議会初の委員会へのオンライン出席等についてご報告します。

令和5年度の予算が決まりました！

3月議会の「予算特別委員会」では、
新年度予算の審議がなされ、
決定しました。

立川市の令和5年度予算額

853億9千万円

(前年度比13億9千万円増)

当初
予算詳細は
こちら



令和5年度の主要施策を一部抜粋

義務教育就学児医療費助成

令和5年10月から、保護者の
所得制限と自己負担額
(200円)を撤廃！



高校生医療費助成

医療費助成の対象を
「18歳の年度末」まで拡大
※高校卒業までの医療費を無償化！



新学校給食共同調理場整備運営

みんなのくるりんキッチンで、今年度2学期
から、念願の中学校給食が市内全校で開始！



7.12開所式、
新学校給食共同調理場見学の様子



「学校給食無償化」
引き継ぎ
求めています！

放課後居場所づくり

放課後子ども教室
「くるブレ」の拡充！
二小、松中小、大山小に加えて、
五小、六小、十小、南砂小でも始まります。
R6年度以降も順次拡大予定！



地域福祉アンテナショップの拡充

既存の一番町にこここサロン、若葉町BASE☆
298に加えて、幸町スマイルキッチン、羽衣町
はねぎんのいえの2か所を増設。今後地域包
括支援センター全圏域設置を目指します。

脱炭素社会の構築にむけた取り組み

本庁舎照明のLED化、電気自動車等の導入、
ごみ焼却熱を利用した電力の地産地消、新設
の公共施設へのソーラーパネル設置など

旧清掃工場解体

今年度は土壌汚染調査を実施し全覆いテント
方式により安全な解体に着手します。
(令和5年度～令和9年度予定)

クリーンセンター運営

「たちむにい」の安定稼働と、周辺住民等に
事業報告や今後の事業計画説明をします。



エントランス壁面は
多摩産材を使用

3.1クリーンセンター竣工式の様子



会派としては…

- ▶ 立川駅北口デッキ延伸等の開発よりも人への投資を拡充すべき
- ▶ 地下水水質調査項目に、PFOA、PFOSの追加を
- ▶ 学校給食無償化や子どもの権利条例の制定を求める
- ▶ 市民と協働で気候市民会議の開催を求める

などを意見とし予算案に反対しましたが、賛成多数により市長提案の予算案がそのまま可決となりました。

子どもの医療費助成には、本年10月から所得制限や自己負担額の撤廃、高校生までの無償化が含まれ、学童の待機児解消のために始まった「くるブレ」事業の拡充、中学校給食の開始など子育て世帯の負担軽減のための予算が盛り込まれていることは評価しています。



原ゆきの所属会派は
「立憲ネット緑たしかわ」です。

裏面に続く！

3月議会の 一般質問



詳細はこちらをチェック！

多様性を認め合う学校教育にむけて

発達特性のある児童生徒へ、**通常学級の支援員**を拡充することを求めています！

もっと！出産・子育てしやすいまち立川へ

パパママ学級の**オンライン対応**、**妊産婦のタクシー利用の助成**を要望しました！

若葉町まちづくりのこれから

ワークショップでの**市民の意見を、まちづくり計画に反映**することを求めています！



質問では、**子育て中のママ、元教員、地域に暮らす市民**としての視点を大切にしています

6月議会の 一般質問



詳細はこちらをチェック！

市内小中学校の教職員・スタッフ配置などについて

年度当初立川市内2校の小学校で教員の欠員がありました。その後の**フォロー体制の確認**、**欠員が生じないようにする策**、**東京都へ求めていくこと**などを質問しました！

もっと！出産・子育てしやすいまち立川へPart2

産休明けで**仕事復帰する方への支援の拡充**(月複数の保育開始日の選択やベビーシッター助成)、**おむつ交換台(着替え台)の普及**・**市役所庁内託児室設置の提案**をしました！

新型コロナウイルス感染症これからの対策の考え方について

マスク着脱は個人の判断であり、差別は許されないこと、**市内小中学校・保育園の給食時間に**対面形式で**食べることや会話を禁じていないこと**を確認しました！

立川市議会 **初!** 委員会へのオンライン出席 (育児事由)

立川市議会では、コロナ禍の影響で外出自粛がなされたなか、**委員会へのオンライン開催の実現**を目指してきました。

当初「**重大な感染症のまん延**」「**災害等の発生**」に限られていた要件でしたが、私が妊娠中だったこともあり、議会運営委員会において、「**出産や育児も要件に含めては**」という他の委員の発言があったことから、超党派で議論が深まりました。

そして、本年3月15日本会議において、立川市議会委員会条例の一部が改正されました。(令和5年4月1日施行)**重大な感染症のまん延防止の観点や災害等の発生に加え、出産、育児、看護、介護等のやむを得ない事由により委員会に参集することが困難な場合、オンラインでの出席ができるよう**改正したものです。

私だけでなく、様々な背景をもった方が議会に参画しやすいよう整えられたのは、議会全体で取り組んだ成果です。そして、**当事者(これから出産する議員)がいたこと、周りの皆さんの「一人の子育てを応援しよう」という温かいお気持ち**が**可能にさせたこと**だと感じています。

いざ実践してみると、大変スムーズに質疑ができ、休憩中には授乳を行うなど子育て中であっても途切れなく、市民の皆さまの代弁者として仕事をすることができました。**多摩地域でも初の試みとして、読売新聞・東京新聞それぞれの多摩版に掲載**されています。

今後とも、**子育てと仕事の両立**ができる社会を目指して頑張ります！



◀オンライン会議の様子

▼東京新聞に掲載されました。



産休復帰後、本会議の日は赤ちゃん連れて登壇しました



デジタル版はこちらから

読売新聞(2023年6月17日付)掲載
「オンラインで市会委出席 多摩地域で初 立川の副委員長 育児理由に」



東京新聞(2023年6月17日付)掲載
「立川市議会初 育児の議員、オンライン出席 市議「当たり前になって」



発行責任者 原ゆき事務所
〒190-0001 立川市若葉町1-3-1-408
tel:070-9008-7455 Fax:050-3488-7544 mail:harayuki0802@gmail.com

プロフィール

1987年生まれ36歳。元小学校教員。長妻昭衆議院議員元秘書。
若葉小/立川九中/錦城高校/都留文科大学卒。夫、子2人(3歳、0歳)と共に若葉町在住。

ホームページ「お問い合わせ」フォームから
皆さまのご意見お寄せください！

SNSで日々の活動を発信しています！

<https://harayuki.com/>

